

妊婦・乳幼児

※必ず母子手帳をご持参ください。

行事	月日曜	時間	場所	対象	内容	持参品等
健診	乳児健康診査	8月7日(木)	保健センター	平成15年1月生 2月生	診察・問診・計測・健康相談・栄養相談・育児相談	対象児には個人通知します。今までに未受診の方もぜひお受けください。
	3歳児健康診査	8月21日(木)		平成12年5月生 6月生	上記のほか、歯科健診・フッ素塗布(対象児のみ)	
相談	ママキッズのすこやか相談	8月5日(火) 9月2日(火)	保健センター	妊婦 乳幼児	計測(乳幼児のみ)・健康相談・栄養相談・歯科相談	歯の相談のある方は、おうちで使っている歯ブラシをご持参ください。
	学級	わくわく離乳食スクー		8月20日(水)	乳児を持つ親	○離乳食の進め方 ○試食
予防接種	集団接種	ツベルクリン反応検査	判定BCG	対象	※北伊予・岡田校区の方は9月17日(水)(ツ反検査)、9月19日(金)(判定・BCG)予定です。	
		9月8日(月)	9月10日(水)	松前地区		
		※ツベルクリン反応検査の2日後に判定を行い、陰性の児にBCGを接種します。 生後3か月以上4歳未満 受付時間 13:20~14:00 医師による診察は13:30からです。				
	個別接種	保健センターで予防接種手帳を発行しています。	●生後3か月を過ぎたら、手続にお越しくください。 「予防接種と子どもの健康」をよくお読みください。 ※最近1か月以内に病気にかかったお子さんは、接種できないことがありますので、主治医にご相談ください。			

風しんは、俗に「三日ばしか」と呼ばれる冬から初夏にかけて流行する発疹性の感染症です。軽いカゼ症状にはじまり発疹、発熱などの症状が現れます。2〜3歳になるとかかる子どもが増え、年長児や大人になってもかかると、一般に重症になりやすい病気です。また、妊婦が風しんにかかると、先天性風しん症候群の子どもが生まれる確立が高いことから、予防接種を行う風しんにかからないようにする必要がありま

◎妊婦前に接種しましょう
先天性風しん症候群とは、風しんに対して免疫のない女性に、妊娠初期に風しんにかかると、風しんウイルスが胎児に感染し、生まれてくる赤ちゃんに先天性心疾患や白内障、難聴などの障害を引き起こすものです。大人でも15%程度の不顕性感染(症状がでていなくても感染していること)があります。
先天性風しん症候群の予防のためには、妊娠前に予防接種を受けておくことが大切です。

◎男性も接種しましょう
風しんの流行をおさえるためには、女性だけでなく男性も接種を行い、免疫をつける必要があります。
◎「かかったはず」だから…
小さいころに風しんにかかっているから予防接種は受けない、という声もよく耳にします。しかし、風しんそのものは軽い病気で、風しんにしかない特有の症状がないため他の湿疹を伴う感染症との判別が難しく、抗体検査を受けないと確定させることは難しい病気です。風しんワクチンは、過去に感染した方でも接種に問題はありませ

昭和54年4月2日から昭和62年10月1日までに生まれた風しん未接種の方は、9月30日(火)までは公費で接種が受けられます。生まれてくる赤ちゃんを風しんから守るためにも、安心して赤ちゃんを産む準備としても、ぜひ予防接種をお受けください。

風しんの予防接種を受けまじょう
—生まれてくる赤ちゃんを守るために—

